

局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明（第2期）

- ①ニューロフィードバックを用いた運動障害疾患の新規治療戦略の構築に向けた探索的研究
- ②統合的神経イメージング法を用いたヒトの周期運動特性とその神経基盤に対する理解
- ③運動訓練と非侵襲電気刺激による局所性ジストニアの病態生理の解明

上記3課題にご協力いただいた皆さまへのお知らせとお願い

【対象となる方・対象のデータ】

対象となる方

ニューロフィードバックを用いた運動障害疾患の新規治療戦略の構築に向けた探索的研究

2017年3月31日まで

統合的神経イメージング法を用いたヒトの周期運動特性とその神経基盤に対する理解

2019年3月22日まで

運動訓練と非侵襲電気刺激による局所性ジストニアの病態生理の解明

2019年2月25日まで

上記期間に国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターで①～③の研究に参加された方

対象のデータ

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査ならびに臨床指標など、完全に個人を識別できないようにした上で、以下研究の解析に利活用されることがあります。

このたび以下の研究へのデータの利活用のお知らせと、利活用先の研究について説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明（第2期）

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 阿部 十也

【本研究の目的及び意義】

本研究では、局所性ジストニアを対象疾患とし、行動実験、EEG、TMS、MRI、安静時/タスクfMRIなど、マルチモーダルな脳・行動計測を行うことにより、局所性ジストニアの病態に関連する神経基盤を多角的側面から明らかにすることを目的とする。局所性ジストニアは病態に関連する責任病巣は依然として不明であり、本研究を通して得られる知見は、将来的に新たな治療法やリハビリテーションの確立にも寄与するものであり、臨床的な意義も大きい。

研究期間

2022年1月20日から2026年12月31日まで

本研究は「局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明」の継続研究にあたり、第2期においても引き続きデータの利活用へのご協力をお願い申し上げます。

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター

所属 先進脳画像研究部 氏名 阿部 十也

電話番号 042-346-2206（直通）

e-mail : mitsunariabe.a8@ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml\_rinrijimu@ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）